

中枢神経原発悪性リンパ腫に対する最適な治療方針の確立

1. 研究の対象

2013 年 4 月～2021 年 10 月に当院で治療を行った中枢神経原発悪性リンパ腫の方

2. 研究目的・方法

中枢神経原発悪性リンパ腫に対しては、従来 高用量メソトレキセート療法と放射線治療を組み合わせた治療が主に行われてきました。しかし近年、高用量メソトレキセート療法に他の抗がん剤を併用する多剤併用化学療法の有効性が報告されております。さらに、自家幹細胞移植を伴う大量化学療法やブルトン型チロシンキナーゼ阻害薬であるチラブルチニブなど新しい治療法や薬剤の開発も進んでおります。これらの新しい治療法、薬剤に対する期待は大きいのですが、それぞれの治療法の組み合わせ方や適応基準については定まった見解が得られていません。

そこで今回、2013 年 4 月から 2021 年 10 月までに当院で治療を行った中枢神経原発悪性リンパ腫の患者さんを対象として、その治療内容と治療成績を検証したいと考えております。特に、新しい治療法、薬剤について、その有効性や安全性、適応基準について解析を行う予定です。

研究期間：倫理審査委員会承認後～2022 年 12 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、副作用の発生状況 等

試料：なし

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

<照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

研究責任者：

大阪国際がんセンター 脳神経外科 高野 浩司

住所：〒541-8567 大阪府中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181